

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西電力南大阪営業所	階数	地上8F
建設地	大阪府堺市堺区熊野町東2丁21~22	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	385 人
気候区分		年間使用時間	2,040 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 0.0	評価の実施日	2013年9月30日
敷地面積	3,245 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 昭和設計
建築面積	1,020 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	7,338 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 3.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 74%  
 ③上記+②以外の 73%  
 ④上記+ 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
 Q1 室内環境: 4  
 Q3 室外環境 (敷地内): 3  
 LR1 エネルギー: 2  
 LR2 資源・マテリアル: 3  
 LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 4.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 低炭素都市「クールシティ・堺」の実現を目指す堺市のシンボルロード沿いに建つ営業所として、様々な環境配慮技術を導入し、環境と共生する低炭素ビルの実現を目指した。また、道路境界部分への植栽や建物の外観にも配慮し、良好な地域環境づくりに寄与できる営業所づくりを行った。		
<b>Q1 室内環境</b> 外皮性能を高断熱にし、熱負荷を削減。電動ブラインドを採用し昼光利用を行う。換気量を基準より多く導入し、空気質の向上を図る。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を4.2mとし、執務室天井高を2.7m以上確保する計画とした。配管・ダクトに更新間隔の長い材料を採用。機器信頼性向上のため受水槽2基設置や2ルート引込を計画。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 大通り沿いの交差点という立地に配慮し良好な景観を形成するように努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光パネルの設置による創エネ 高効率機器の採用 ナイトバーズの採用	<b>LR2 資源・マテリアル</b> エコマークのある材料、有害物質を含まない材料を積極的に採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ゴミ種類、量の推計、ストック、分別スペースの確保、有価物回収を行う計画。光害に関して、チェックリストの過半、広告物照明の配慮事項の一部を満たす計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	関西電力南大阪営業所	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区熊野町東2丁目21~28,30,31,33	3.1	S
	主用途/延床面積	事務所 / 7,337.63 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	
省エネ対策	5	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	5.0	5
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.9	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		5.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.9	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		4.5	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.8	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	